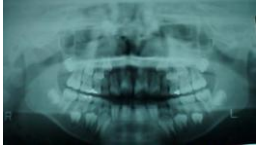


## 1 できるだけ、詳しい資料をとる



レントゲン写真1



レントゲン写真2



レントゲン写真3



口腔内写真



口腔内模型

上記のような資料を採り、豊富なデータから詳しく分析し治療方針をたてます。

治療の方法、治療期間など本人、両親そしてわたくしの三者でコンサルテーションし納得いくまでお話をします。

## 2 矯正治療によって美くなる



図1(治療前)

○で囲まれた部分がオトガイ隆起



斜線はE-line



図2(治療後)

オトガイ隆起の緊張がなくなっている



口唇がE-lineの内側に入っている

洋の東西を問わず「美しさ」には共通した意識があります。その「美しさ」とは健康でそれを科学的に証明されたものでなければなりません。上記の写真は矯正治療をした患者さんの治療前と治療後の写真です。図2のほうが図1より美しいと感じるでしょう。それは、口を閉じた時オトガイ隆起(下顎の中心にある隆起)が緊張していないこととE-line(鼻とオトガイ隆起を結んだ線)の内側に上下口唇が入っていることの2つの条件がそろって初めて上下の噛み合わせが機能し「美しく」なるのです。

動物のなかでオトガイ隆起を持っているのは人間だけであるといわれています。ヒトに一番近いといわれているチンパンジーですらこのオトガイ隆起はありません。オトガイ隆起は言語を話すことによりできたのではないとも言われています。ほとんどの方がオトガイ隆起を持っているのですが、歯並びや骨格のちょっとしたずれでオトガイ隆起が隠されている方も実際は多いです。それでは、なぜオトガイがあると良いのでしょうか？オトガイがあると口の周りの筋肉がリラックスして唇を閉じることができます。唇を閉じた時にオトガイ隆起が梅干しのようにシワ(図1の左側参照)ができる人がいますが、これはオトガイ筋が緊張しているからです。オトガイ筋が緊張している方は就寝時にはリラックスしていますからオトガイ筋は弛緩し口が開きます。口が開いてしまうと、歯肉が乾燥しやすくなります。歯肉はノドや眼と同じ粘膜で乾燥に対しては非常に弱く、すぐに炎症をおこします。ですから、オトガイ筋の緊張が強い人は歯肉炎や歯槽膿漏にもなりやすく、風邪もひきやすいのです。

## 3 顎関節を含めた包括的な治療

顎関節には、他の身体各部の関節には見られないいくつかの特徴があります。

1: 左右2つの顎関節は一对となって、協調運動を営んでいる。

一方の関節が運動すれば、必ず他方の関節も同時に何らかの運動をしていることになり、一方だけの単独運動をすることは無いのです。

2：顎関節は多くの他の関節と同様に**回転運動**を行うが、それに**滑走運動**（顎を前に出す）も行うことができる。滑走運動は他の関節に見られない顎関節特有の動きです。2つの運動を巧みに組み合わせてヒトは、咀嚼や発音といった複雑な下顎運動を可能にしています。

3：顎関節の運動は、**歯によって規制**されている。

上顎の歯列に下顎の歯列がぶつかることによって顎運動に制限が生じ、すなわち停止を意味します。



図1：レントゲン正面観



図2：治療前の顔正面観



図3：治療前の口の中



図4：治療1.5年後の顔正面観



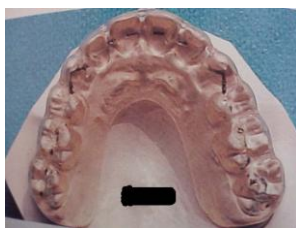
図5：治療1.5年後の口の中

上の写真の患者：A君は、**たった1本の歯のずれから、顔の非対称、関節のずれそして開口障害**を引き起こしました。図4と図5は治療1.5年後のA君です。顔の正面観から、対称になっているのがはっきりとわかんと思います。そして口の中の**正中**も合い対称になっています。このことから、顎関節は**協調運動**を営むことができるようになり、A君は正常な咀嚼や、発音を回復できました。

#### 4 治療後の咬合(噛み合わせ)が長期安定すること

現段階では非常に難しい問題として、私の永久的課題としたいところです。矯正治療が終わって、きれいな歯並びの状態を100%一生維持できるかという、今のところどんな最新の治療方法でも不可能です。矯正治療後に歯はリラップス(後戻り)を起こします。そのことを想定して**オーバートリートメント**(過度の治療)、**リテーナーの工夫**など、患者さんの**噛む力**、**舌癖**(特に多いのが舌の先が上顎前歯に当たっている)などをcheckして協力をいただいています。残念ながら当医院でもブラケットを外すと治療が終了したかのように思われる患者さんが若干名いらっしゃって再治療を行う方がいらっしゃいます。

矯正歯科学会レベルでも長期間噛み合わせが安定するには、どうしたら良いかがいつも検討されています。



ソフトリテーナー



ハウレータイプリテーナー

色々なリテーナー

問い合わせ先：品川区東大井5-14-14 さとう矯正・小児歯科 TEL：03-3472-6060

[www.jin-sato.com](http://www.jin-sato.com)

文責：歯学博士 佐藤仁彦